

セポ ・ レポ ・ ハイスクール Cepo Repo ・ HighSchool

第5号 (2020年12月 発信)

地域連携教育推進室員が県立高校等に赴き、各学校の地域連携教育の取組をレポートしていきます。このレポートのタイトルである「セポ・レポ・ハイスクール」の「セポ」は「地域連携教育推進室」を表す「Community Education Promotion Office」の、「レポ」は「Report」の略称です。

県立柳井高等学校の取組



事前説明を行う平井CS活動推進員



学校運営協議会の委員や地域の講師の方と熟議する生徒たちの様子



県立柳井高等学校では、9月15日(火)の第2回学校運営協議会に合わせて、**学校運営協議会委員や地域の方が参加する「総合的な探究の時間」**が行われました。この「総合的な探究の時間」では、生徒が委員や地域の方から、仕事内容や地域に対する思いを聞くとともに、自分たちが考える柳井広域地域の魅力を高めるための方法等について、**委員や地域の方を交えた熟議**を行いました。

注目!

この取組において、柳井高校の**CS活動推進員 平井一さん**が御自身のネットワークを生かし、地域の様々な分野で活躍されている十数名の方を講師として学校に招聘しました。当日までの連絡調整に加え、講師となる**地域の方々への事前オリエンテーション**も平井さん自らが行い、「総合的な探究の時間」の**運営支援**を行いました。

注目!

柳井高校では、コミュニティ・スクールの仕組みを生かして、**生徒たちが地域を通じて、地域の大人と交わる中で、自分の在り方生き方について考えることができる貴重な学びの場**が創出されていました。

ポイント!

【生徒の感想】

私たちだけでは分からなかった具体的な数字や現実を知ることができ、より内容の深いものにすることができました。企業の方々が私たち高校生の発想力や発信力を必要としていると知り、驚きと同時に喜びを感じました。

今まで関わりの少なかった商工会議所の仕事内容や柳井を活性化するために行っている取組を知ることができて興味深い意見交換になりました。これから高齢化や少子化が進んでいく中で、どうやって柳井市をアピールしていくのか私たち若い世代が考えていくべきだと強く感じました。

コミュニティ・スクールの充実に向けたマネジメント



取組の趣旨を説明する高橋校長

この取組には、「柳井高校の生徒に、大学でこんな勉強をしてみたい、こんな社会人になりたい、こんな仕事に就いてみたいという思いをもってもらいたい」という高橋校長先生の思いが込められていました。

校長先生は、「自身の高校生時代に地域の方や大学の教授、企業の経営者の方と直接話をする機会はなかったが、もし柳井高校の生徒たちにそうした機会があれば、きっと色々なことを考えられるきっかけになるのではないかと。また、そうした人たちと話すことが地域への愛着につながるとともに、生徒自身のキャリア形成につながっていくのではないかと」考えられたそうです。そこで先生方にこれからの学力が知識・技能のみではなく、いわゆる「学力の三要素」（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）が求められており、とくに「主体性」や「協働性」は、校内はもちろんのこと、地域等においても効果的に育まれるものであるということを訴え、その育成のきっかけとして、「できるだけ多くの、そして様々なジャンルの講師（実際は20名）による少人数グループのディスカッションを行う」という今回の総合的な探究の時間を提案されたとのことでした。また、年度末には、この熟議を深めるための生徒同士のディスカッションに加え、クラス内で各グループが考察・研究し、その内容についてプレゼンテーションすることも予定しているとのことでした。

この総合的な探究の時間の取組を実施するにあたり、今年度は柳井高校の重点目標に「『ふるさと愛』の醸成」を掲げ、教頭・学年主任・関係教員等と方向性を話し合うとともに、部活動や他教科等との兼ね合いを考慮しながら、CS活動推進員や学校運営協議会を通して地域から協力を得るなどのカリキュラム・マネジメントが行われていました。

文部科学省の「コミュニティ・スクール2018～地域とともにある学校づくりを目指して～」というリーフレットには、コミュニティ・スクールの運営の充実に向けられるものとして、①熟議、②協働、③校長のマネジメントの3つの視点が掲げられています。この度のコミュニティ・スクールの仕組みを生かした柳井高校の新たな取組の実現には、校長先生の学校マネジメントがその後押しとなったといえるのではないのでしょうか。

県立柳井高等学校の情報はこちらから→ <http://www.yanai-h.ysn21.jp/>

